

はじめまして世界！～日本の国からこんにちは～

04

所 属	三重県立四日市市立大谷台小学校	実践者	酒井 陽香
対 象	小学2年生（26名）	実践日	2024年1月～2月
実践教科	音楽・特活	時間数	3時間
ねらい	・世界を身近に感じ、自分たちの毎日の暮らしにも、さまざまな国が関わっていることを知る。 ・世界に肯定的に出会い、興味関心を持つ。		
実践内容	回	プログラム	備 考
	1	■音楽でみんなとつながろう！ 「メッセージ」いろいろな国の挨拶の言葉を覚えよう。 ■1日2回国歌が流れる国 それぞれの国に国歌があり、聞く回数や場面は異なることを知る。 ■日本の国歌を聴く 日本の良いところはどこだろう？考えてみよう！	小学2年生の音楽の教科書「メッセージ」を歌う。 タイ国歌 タイ国歌が流れた際の動画を見る
	2	■世界の国歌を聴く どこの国の曲が好き？どこに行きたい？ その国の映像と共に聴くことで、他国に興味を持つ。 ■世界と日本のつながり 自分たちの毎日の暮らしの中には、世界のさまざまな国が関わっていることを知り、世界を身近に感じてもらう。 ■どんなものを食べてるの？【フォトランゲージ】【ポップコーン形式】 いつ誰が食べていて何が入っているか想像する。 どんな味がするかを考える事でその食べ物と国に興味を持つ。	jica ホームページ 「つながる世界と日本」参照
	3	■世界の学校を覗いてみよう【フォトランゲージ】【ポップコーン形式】 世界の学校は、どんな教室だと思う？ 具体的に想像してから、日本と同じところと違うところを探す。 ■学びの振り返り 〇〇の国に行って〇〇する！【行動宣言】 外国の人と仲良くなるにはどうしたらいいだろう？ 授業の感想	ポプラ社「現地取材！世界の暮らし」参照
成 果	・「外国に興味がなかったが、興味を持った」という意見が聞けたり、外国に対してあまり良いイメージがなかった子供たちが、写真や動画を通して、肯定的に捉えるようになった。 ・低学年の生徒は、自分の意見を言語化する能力が不十分だけでなく、考えていないわけではなく、日本の良さを理解していたり、改めて子供たちの可能性に気づききっかけとなった。		
課 題	・初めての参加型手法に慣れるまでに時間がかかり、あまり効果的に活用することができなかったため、普段の授業から取り入れたい。 ・面白い！楽しい！と感じてもらえるように授業を作成したため、世界の課題と向き合うことはできなかったが、今回の授業をきっかけに、世界を身近に感じ、関心を持つきっかけとなれば嬉しい。		
備 考			